

## 2. 発達障害のコミュニケーションに本当に必要なコト～最大の原因は「前提」の違いにあった！～

発達障害の一番難しい問題が「コミュニケーション能力」だと言われています。

「どんなに努力をしても、うまくコミュニケーションが取れるようにならない…」

当事者本人・家族・支援者の共通の悩みではないでしょうか？

言い換えれば、発達障害の問題の多くは、コミュニケーションがうまく取れれば、解消するものが多いのです。

そのことは、当事者・家族・支援者も、理解はしていて、努力をしているにもかかわらず、あまり効果がないことが多いのは、なぜなのでしょう？

その理由は、ただ1つ。

「発達障害の当事者とそれ以外の人の間には、全てのベースとなる「前提」の違いがある」

それだけなのです。

たったそれだけのことに気づけば、全てが大きく変わります。

だからこそ、発達障害の人とそれ以外の人とのコミュニケーションでは、前提の違いを配慮しながら伝えるチカラが必要なのです。

そして、発達障害の人が身につけるべきチカラは、「前提の違い」に気づいて、不足している情報を訊き出すチカラが必要なのです。

講演では、簡単なワークを通して、「前提」の違いとはどういうものなのかを体感していただきます。

そして、発達障害の人と周囲の人のコミュニケーションの質を上げるために、どのような工夫が必要なのかについて、お話をしていきます。